

JSAC NEWS



小型武器の回収数が22,000丁を突破しました

2006年8月をもって、JSACのプログラム(2003年4月～、対象地域5州)によって回収された小型武器は22,000丁を超えました。これらの武器が地域社会から取り除かれたことによって、対象地域の住民270万人が、より平和で安全な社会で生活する事ができるようになりました。

JSACの武器回収活動は、法律による強制力や武器の対価提供(インセンティブ)の申し出を通じて、実施しているわけではありません。住民が安心して武器を自発的に放棄できるよう、教育や治安環境整備に重点を置いて活動しています。

JSACは、州レベルから草の根の村レベルまで、徹底的にワークショップなどを行い、小型武器に関する教育(情報提供)や、住民と警察などの治安当局間の信頼醸成に力を注いでいます。

例えば、住民が自ら武器を持たなくても、警察がコミュニティーの安全を守ってくれるという信頼が持てるように、警察に対しても機材・トレーニングの支援を行います。また、小型武器の所持を禁じる武器法を広めることに加え、住民が、自らが警察に差し出した武器が正しい手続きで処分され、平和構築と治安の向上につながることを信じて武器の引き渡しができるように、JSACが住民と政府関係者(警察)の間に入り、様々な調整・支援を行います。

Address:

Room No. 535, Phnom Penh Center,
Corner Sihanouk Blvd. No. 274 &
Sothea St. No. 3,
Sangkat Tonle Bassac,
Khan Chamkarmon, Phnom Penh Cambodia
PHONE: +855-[0]23-224-001
FAX: +855-[0]23-220-330
E-MAIL: adm.jsac@online.com.kh
URL: [http://www.online.com.kh/
users/adm.jsac/](http://www.online.com.kh/users/adm.jsac/)

Volume 6

2006年9月20日



地域社会における関係当局(警察など)と住民の間で信頼が育成されて、初めて、武器回収を通じた平和構築プログラムが地域に根を下ろします。このためには、地域のあらゆる関係者(地方行政、警察、NGO、寺院など)との綿密な協力が不可欠で、この協力関係を通じて、関係者の当事者意識や治安維持に対する能力も育成されています。



←村でのワークショップの様子。
カンボジア NGO、JSAC、地元行政(警察)
の協力の下、実施。(バタンバン州)

警察武器の登録研修の実施

2006年7～8月にかけて、バタンバン・コンポントム両州の州警察を対象に、小型武器の登録(マニュアル・レジストレーション)研修が各々行われました。2州の州警察が業務上保有する全ての小型武器がまず手記登録され、その後、コンピューター登録研修を経て、コンピューターのデータベースにその情報が移行されます。このように警察の保有武器の登録・管理を強化することで、武器の違法流出を防ぎ、武器に関する警察の意識向上も図ります。



2006年8月23日、バタンバン州にて、JSAC支援による10回目の小型武器破壊式典が開催されました。同州で回収された6,722丁の武器が焼却・破壊されました。

日本小型武器対策支援チーム(JSAC)概要

日本政府からカンボジア政府に対し供与された紛争予防・平和構築無償支援「カンボジアにおける平和構築と包括的小型武器対策プログラム」の実施のために、2003年4月日本国際協力システム(JICS)によって設立。5つのプロジェクト(1. 平和のための小型武器削減と開発プロジェクト、2. 小型武器管理・登録支援プロジェクト、3. 小型武器破壊プロジェクト、4. 意識向上プロジェクト、5. 国家委員会支援プロジェクト)の実施を通じて、カンボジアの小型武器削減と平和構築を包括的に支援しています。2006年8月末現在、5州にわたり合計22,532丁の小型武器を回収しました。

詳細については、ウェブサイトをご覧ください。URL: <http://www.online.com.kh/users/adm.jsac/>